驛逓局認可

時事新報

明治十八年二月六日　金曜日

第八百八十五號

日曜日休刊

敍任

○明治十七年十一月十三日
砲兵中佐正六位勳五等　河上　繁榮
勳四等瑞旭日小綬章
歩兵少佐從六位勳五等　益田　照遠
仝　仝　仝　下村　定辭
仝　仝　仝　寺内　清祐
砲兵少佐仝　仝　仝　西川　經武
歩兵少佐仝　仝　仝　湯池　弘
砲兵少佐仝　仝　仝　九里孫次郎
歩兵少佐仝　仝　仝　荻滿　邦介
二等軍醫正從六位勳五等　小林　重賢
仝　仝　仝　弘田　親厚
仝　仝　仝　小泉　親正
○明治十八年二月四日
敍正五位　從五位勳四等　澤野　種鐵

時事新報

共和黨勝テ米國ノ黨閥破レントス

今ハ既ニ過去トナリヌ去年十一月ノ四日ハ米國大統領改撰ノ當日ナリシヲ以テ米國合衆黨ハ六月六日ちかご府ニ會シテぶれいん氏ヲ大統領ニろうがん氏ヲ副大統領ニ指名シ共和黨ハ七月初旬ヲ以テくりうらんど氏及びへんどりっく氏ヲ正副大統領候補ニ指名セシカバ八千里外ノ我國人モ東隣ノ大統領ハ誰レカ取テ之レニ代ラン、落磯山(ロッキー)下ノ鹿ハ果シテ何黨ノ手ニ落チント改撰當日ノ前後ハ頸ヲ延テ其消息ノ來ルヲ待チシニ豫期ニ後ルヽヿ數日華盛頓府發ノ電報ハ共和黨勝ヲ占メくりゔらんど氏大統領ニ撰ハレタル旨ヲ確報セリ我國人ハ既ニ此確報ニ接シテ米國新大統領ノ何人タルヲ知レリ左レバ我國人ノ今後知ラント欲スル所ハ唯此新大統領ノ就職ハ米國ニ對シテ如何ナル影響ヲ及ボス歟ノ一點ニ在ルナリ而シテ其影響ノ如何ハ來ル三月くりうらんど氏ガ大統領ノ位ニ即テ白屋(ホワイト、ハウス)ノ椅子ニ倚ルノ後ニ非ザレバ之ヲ詳知スル能ハズト雖モ我輩ハ唯今日ヨリ過、現兩時ノ有様ニ照ラシテ未來ノ影響ハ斯クモアラント其臆想スル所ヲ以テ之ヲ我國人ニ報道セント恰カモ思考、觀想スルノ際、兼テ米國紐育府ニ在留シタル一社友十一月十二日桑港發ノ郵船ニ搭シテ先日歸朝シタルヲ以テ此程親ク其説ヲ叩キシニ其餘談縷記スル所頗ル肯綮ニ中タルガ故ニ左ニ其旨ヲ筆記シテ讀者ノ意ニ投セント欲スルナリ

抑モ我社友ガ紐育府ヲ發シテ桑港通ヒノ汽車ニ乘組ミタルハ大統領改撰投票ノ當日前一日即チ十一月三日ナリシヲ以テ固ヨリ其大統領ノ何黨ヨリ出ツ可キヤヲ知ルニ由ナク斯クテ日又一日ヲ汽車ノ旅行ニ費シちかご等ノ地ヲ經テかりはるにや州ノ桑港ニ近ヅク其中ニ最早改撰ノ當日モ過キ去リタレバ先ツ停車場ニ就テ改撰ノ結果如何ト尋ヌルニ此所ノ停車場ニテハ「無論合衆黨の勝利なり、ブレイン氏は若干票の多數を得たり、北米合衆國三十八州の大統領も最早大丈夫Bの字で御座る」ト云フカト思ヘバ彼處ノ停車場ニテハ「クリヴランド氏は大多數あり、共和黨萬歳(デモクラット)」ナド、唱ヘ米國人ノ習トシテ黨派ノ奇癖骨髓ニ徹シ各其黨ニ利ナルノ説ヲ爲シテ勝敗ノ確報ヲ受ケ取ルマデハ毫厘モ讓ラズ其黨勢ヲ張ルガ故ニ中途ノ報告區々ニシテ一日中ニ幾回トナク反對ノ報道ヲ耳ニシ斯クテ桑港ニ着シテ東來ノ確報如何ト問フニ此時マデモ未タ新大統領ノ何人タルヲ知ルヿヲ得ザレバ其儘郵船ニ乘組ミテ十二月八日横濱着港ノ後始メテくりうらんど氏ノ勝利ト爲リシコトヲ聞知シタリト蓋シ從來ノ慣例ニテハ大統領改撰ノ當日投票ヲ計算スルト間モナク其結果ノ報告ヲ受ケ取ルヲ常トセシニ今回改撰ノ報告ノ斯ク久シク延滯セシハ目今共和合衆ノ兩黨恰カモ相頡頏シテ投票ノ數モ亦互ニ相密邇シ暫時其勝敗ノ知レ難カリシガ故ナル可シ右ノ如キ次第ニテ本年米國大統領ノ改撰ニハ共和黨勝利ヲ占メテくりうらんど氏新大統領ニ撰ハレタリ斯ク共和黨ノ勝ヲ得タルハ米國ニ對シテ如何ナル影響ヲ生ズ可キヤ、利害如何トノ質問アラバ我々之レニ答フルニ曰ク利ナリトノ一言ヲ以テシテ可ナラン今其故如何ト云フニ近年米國ノ大統領ハ引キ續テ合衆黨ヨリ出デ千八百六十一年あぶらはむ・りんころん氏ガ合衆黨ヨリ大統領ニ推撰セラレテヨリ現大統領あるさあ氏ニ至ルマデ人ヲ換フルヿ六人年ヲ經ルヿ二十四年ナルモ其大統領ハ孰レモ合衆黨ノ人ナラザルハナシ乃チ其人名ト就職時限トヲ掲ゲレバ左ノ如シ

大統領人名	就職時限
あぶらはむ・りんころん	千八百六十一年より六十五年
あんどりう・じよんろん	千八百六十五年より六十九年
ゆうりーやす・にす・ぐらんと	千八百六十九年より七十七年
るさはるど・び・へいす	千八百七十七年より八十一年
ぜいむす・あぶらはむ・があひるど	千八百八十一年三月より同年九月
ちゑすたあ・あれん・あるさあ	千八百八十一年より八十五年

右ノ如ク年移リ人換ハルモ合衆黨ノ權力ハ依然トシテ今日マデモ持續シ大統領ハ四年每ニ更代スルモ政府ハ常ニ合衆黨ノ政府ニシテ共和黨ノ勢力ハ中央大政府ノ國内ニ向テ一歩ヲモ運ブル能ハザリシ、蓋シ彼ノ合衆黨ガ斯ク久シク米國政府ヲ專ラニシタルハ決シテ偶然ノ事ニ非ズ今ヲ去ルヿ二十餘年前米國ニ南北戰爭ト云ヘル内乱アリ此内乱ハ奴隸ノ存癈ニ關シテ南北其利害ヲ同ウセザルニ起リタルモノニシテ固ヨリ政治黨派上ノ戰爭ニ非ズト雖モ當時南北ト區別シテ其南部ニ行ハル、氣風精神ヲ察スレバ北部ハ合衆黨ノ氣風ヲ帶ビ南部ハ共和黨ノ精神ヲ存スルノ痕跡ナキヲ得ズ試ニ其痕跡トモ云フ可キモノヲ擧ケシニ米國ノ南部ハ木綿ヲ首トシ天然耕作ノ產物ニ富ミテ自由貿易ニ利ナレドモ北部ハ人爲製造ヲ專ラトスルノ地ニシテ勢、保護貿易ニ左袒スルノ傾アリ而シテ今共和合衆兩黨ノ貿易上ノ意見ヲ問ヘバ共和ハ自由ヲ主張シ合衆ハ保護ヲ賛成スルトスレバ共和黨ノ精神ハ南部ニ利ニシテ合衆黨ノ氣風ハ自カラ北部ニ利ナルモノ、如シ左レバ南北戰爭ハ政黨ノ爭ニハ非ズト雖モ事ノ成跡ヨリ觀察スレバ恰カモ共和合衆兩黨ノ戰爭ナルガ如キ觀相ヲ呈シ北部ノ戰捷ハ取リモ直サズ合衆黨ノ凱旋ト云ハザルヲ得ズ即チりんころん氏以下ノ大統領ガ續々合衆黨ヨリ出テぐらんと氏ガ南北戰爭ノ際ニ軍功アリシヲ以テ大統領ヲ再勤シタルガ如キ孰レモ皆ナ合衆黨ガ戰捷ノ勢ヲ以テ米國政府ヲ專ラニシタル事相ニシテ共和黨モ甘ンシテ其下風ヲ仰キタル所以ナラン然ルニ近年ニ至リテハ合衆黨專權ノ久シキ、遂ニ一種ノ黨閥ヲ成シ腐敗獘害往々言フニ忍ビザルモノアリテ今回共和黨ノ勝利ハ米國ニ取リテ恰カモ此腐敗獘害ヲ掃除スルノ一新期限ト爲ルモノヽ如シ其次第ハ請フ之ヲ次號ニ記サン（以下次號）

雜報

○北白川宮　同宮には昨五日鴻ノ臺へ新築中なる教導團兵營へ見分として同所へ赴かれぬ

○山階晃親王　三品勳一等同親王には維新の際皇室に盡力され殊に高齢なるを以て近日特別に大勳位を敍せらるゝやの噂あり

○御祝の贈物　有栖川一品宮を始め各皇族方より昨五日鮮魚其他の物品を山階宮へ贈進して御高齢を祝されしと

○清帝雪を祈る　清國皇帝には清暦十一月十六日即我一月一日左の如き上諭を下したる由

十一月十六日上諭ヲ奉ス京師入冬以來雪ヲ得ルヿ稀少ニシテ農田澤ヲ待ツヿ孔タ般シ實ニ深ク寅盼ス允ニ宜シク虔ミテ祈禱ヲ申スベシ朕本月十九日ニ於テ親ラ大高殿ニ詣リテ香ヲ拈セン時應宮ヘハ着シテ惇親王奕誴ヲ派シ昭顯廟ヘハ着シテ惠郡王變詳ヲ派シ宣仁廟ヘハ着シテ貝勒載澂ヲ派シ凝和廟ヘハ着シテ貝勒載瀅ヲ派シ同ク是日ニ於テ香ヲ拈セシメヨ欽此

○西鄕伯　同伯には先頃辭表を呈出せしとの噂もありて暫く農商務省へ出頭なかりし由なるが昨五日より出勤なしたりと

○佛國陸軍卿　佛國陸軍卿カムペノン氏は更に東京に援兵を出すことに不同意なるが爲めに其職を辭したりとのことを去月七日の紙上に倫敦よりの電報に依りて記載せしが元來カムペノン氏は支那政略に關しては斷行主義を執る人なれば氏が援兵派遣の議に異論を唱へて辭職したりとは一寸請取れぬ報道なりとの説もありしが今新嘉坡の新聞に載せたる一月四日巴里發の電報を見れば「佛國陸軍卿は更に東京に援兵を發するの議行はれざるが爲めに其職を辭しド・レウオール氏が陸軍卿に任せられたり」と見えたり之を見れば前の電報は全く新嘉坡と香港との間にて大間違たるものと見ゆ但し右二報に據ればカムペノン氏が辭職の理由まるで全く反對なれば其辭職丈けは事實なるが如くなれども此程巴里より東京の或方へ達したる電報にはカムペノン氏辭職とは虚説なりとありたる由何れが信僞なるや後報を得されば知るを能はず

○ランドルフ・チョルチル卿　英國下院の議員にて保守党の領袖たる同卿が病氣療養の爲め政治上の煩勞を避けて遠く印度
るよしと既に本
卿は印度より再
ならんと言へり

○左宗棠　左宗
接戰せんとして
は過日の紙上に
は觀察王某なる
しめ自身は馬江
營ありと云ふ

○プリエル、ク
ド・リスル氏は
將軍に榮進して
は司令長官なる
の死亡も漸次多
見えたり

○清將出軍　廣
京出征の密旨を
ふる上にて近々
よし見ゆ

○尙泰氏　華族
れしが愈來る十

○熱海行　吉田
浴するよし又坂
泉に赴きたり

○宮廷賞報
勉勵に付特旨を
仰渡されたり○
一昨四日文部省
として壹箇年金

○祝宴　小澤陸
陸軍卿の歸朝の
を招請するよし

○華族會議　華
町の同會館に集

○火藥庫巡視
國人等は一昨四

○歸京　長は山
靜岡縣へ出張せ
せし山下農商務
したり又相州觀
少佐、森大尉の
よし

○出張　長に京
目賀田種太郎氏
れたり又大藏省
引繼のため往復
けられたり

○公使は夫人來
は昨五日同館に
して祝宴を開き

○本願院殿逝去
る本營院殿は本